

縁起云寶龜十一年庚申十一月廿一日春日王田原天皇第二皇太子奉祀春日四御殿。大神當座中之御社は也。

同云保延二年丙辰十一月廿二日春日若宮天押神勸請於左座奉號。奈良春日三社云云。

トアリテ其ノ大宮神殿中ハ施基皇子ノ二子春日王ノ靈ヲ祭り、奈良神殿右ハ施基皇子即チ奈良津彦尊ニシテ其ニ寶龜中ノ齋祭ニ係リ、若宮神殿左ハ保延中三笠山春日社ノ若宮ヲ此所ニ勸請セルモノナリ。施基皇子ハ光仁天皇ノ御父ニシテ、薨後春日宮御宇天皇ト追尊セラレシコト既ニ國史ニ明ナリ。當社ヲ春日社ト稱スルハ所謂春日離宮ト春日宮御宇天皇ノ名稱ニ因メルモノニシテ、三笠山春日ノ社名ヲ襲ヘルニアラズ。相混ズルナカレ。縁起ニ春日王ノ逸事ヲ記スルモ要ナケレバココニ載セズ。

和爾坐赤坂比古神社

樺本町大字和邇北坂ニアリ。天平二年十二大和國正稅帳殘關正倉院文書ニ「丸神戶穀

伍拾斛漆斗玖合純九斗九升四合定肆拾玖斛漆斗壹升伍合、替依稻肆伯玖拾漆東壹把半、顯肆伯伍拾貳束租壹伯壹拾參束、合壹仟陸拾貳束壹把半、用肆束神祭殘壹仟伍拾捌束壹把半新抄格勸符抄ニ「和爾神四戸大和」延喜式神名ニ「和爾坐赤坂比古神社大和」トアリテ、古ハ盛大ナル社頭ナリシモ中世以降衰微シ今ハ村社タリ。祭神赤坂比古命何神ナルヲ知ラズ。蓋シ和珥氏ノ祖神ナラン。和邇下神社 延喜式神名ニ「和邇下神社二座」トアリ。一座ハ樺本町治道ニアリテ、俗ニ上治道天王ト

稱シ、一座ハ大字横田治道ニアリテ下治道天王ト稱ス。其ニ今村社タリ。祭神ハ素戔鳴命・大己貴

命・稻田姫ノ三神ヲ祭ルト云フ。按ズルニ横田ハ横田物部氏ノ住所ニシテ、饒速日命ニ關係アルコ

ト横田學下ニ述ブルガ如シ。而シテ筒井諸記ニ當村ノ事跡ヲ記シテ

當村鎮守 下治道午頭天王ト云フ
又ノ説横田物部社トアリ
文錄御高
一、二千百七十七石二斗九升

慶長己後春日社領御寺務御殿御支配

添上郡横田村

トアリ。此一説ニ據レバ物部氏ノ祖神ヲ祭レルモノナリ。後考ヲ俟ツ。

天乃石立神社

小柳生岩戸ニアリ。天手力雄命ヲ祭ル。今村社タリ。式内天乃石立神社ハ即チ當社ナ

リト云フ。按ズルニ柳生家傳本朝武評傳所引ニ「神戶岩之邊四箇莊所謂大柳生莊坂原莊邑知莊小柳生莊也神

代以來靈地而藤原基經並領四箇庄其六代後孫大師藤原賴通以四箇庄寄附春日社以爲神料地時長曆二年也後年爲春日神職料大柳生庄右京利平也坂原庄左京基經也邑知庄修理包平也小柳生庄大膳永家也相分爲四箇庄主以分領之居焉」ト見ユルモ當社ノ事微スベキナシ。中臣祐房ノ注進狀長承二年ニ「少神名

……中院青神明神又名天乃石立神……青神一前實名天乃トアレバ、春日ノ末社青神神ハ式内天乃石立神社ヲ勸請セシモノカ。マタ荒廢ノ後春日ノ境内ニ遷祀シ、更ニ青神神ト稱セシカ。後考ヲ俟ツ。